



\*ETK1545177B\*

CFJB04A-UB<120>  
工法書

### 安全上のご注意

#### 安全にご使用いただくために必ずお読みください。

本項は、人身への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。

本光接続箱に関する安全上のご注意

<p><b>危険</b></p> <p>右記内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。</p>	
<p><b>警告</b></p> <p>右記内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不安定な場所に置かない 本光接続箱は、運搬中、据付中にぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置くと転倒、落下等の事故がおこり、けがの原因になります。安定する場所を据付場所を選び確実に固定してください。</li> <li>電源コードの取扱いに注意する 配線済みのコードは重い物をのせたり、加工したり熱器具に近づけたりすると、コードが破損して火災・感電の原因となります。又、新たに電源コードを取り付ける場合は、決められた工法を守り火災・感電の原因にならないよう正しく配線してください。</li> </ul>
<p><b>注意</b></p> <p>右記内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手をはさまない ドア等の開閉時、指や手をはさむとケガの原因になります。</li> <li>突起物、鋭利な部分に注意する 刃物、工具類などのご使用には注意してください。突起物、鋭利な部分に十分に注意してください。特にしゃがんで作業されて立ち上がる際には注意してください。</li> <li>ケーブルの取扱いに注意する 剛性の強いケーブルは暴れやすくなっているので注意してください</li> </ul>
<p><b>お願い</b></p> <p>右記内容を無視して、誤った取扱いをすると、本製品の性能を発揮できない可能性および、機能停止をまねく可能性が想定されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光ファイバ心線に関しましては、許容曲げ半径「<math>R \geq 30\text{mm}</math>」をお守りください。</li> <li>融着作業に関しましては、ご使用の融着接続器添付の取扱い説明書をご覧ください。</li> </ul>

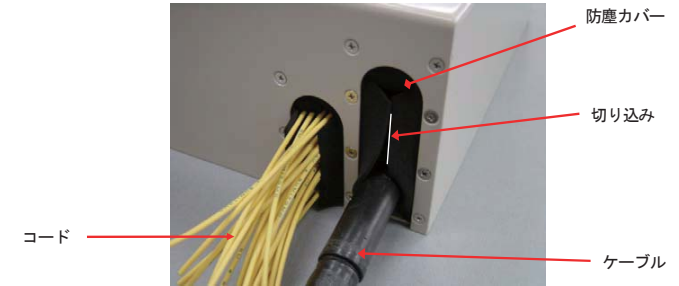
### 1. 設置方法における注意点

本接続箱の固定方法は、壁面固定です。下記事項についてご注意ください。

- 本接続箱には、本体背面にφ7mm穴×4箇所を設けていますので、固定面（壁面）にぐらつきがないようにしっかり固定してください。
- 強度上問題のある壁面には固定しないでください。

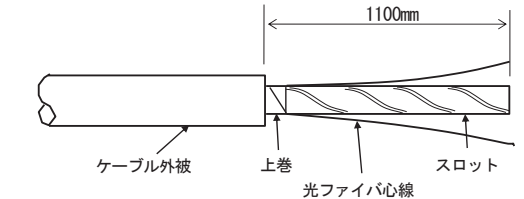
### 2. 光ケーブルの導入出方法

防塵カバーにカッター等で切り込みを入れ、ケーブル/コードを引き込んでください。

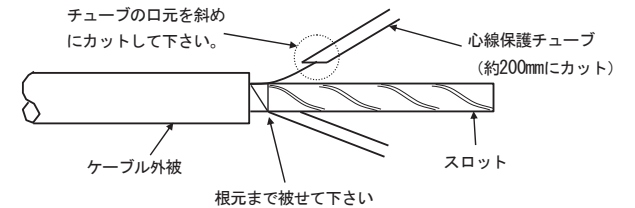


### 3. 分岐ケーブルの処理

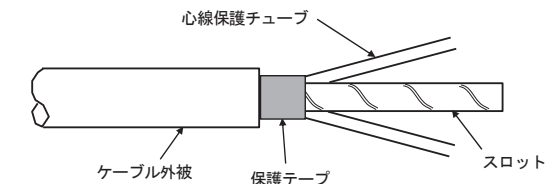
(1) 光ケーブルを接続箱に引き込み、図に示す寸法で外被を剥ぎ取り、上巻を除去してください。



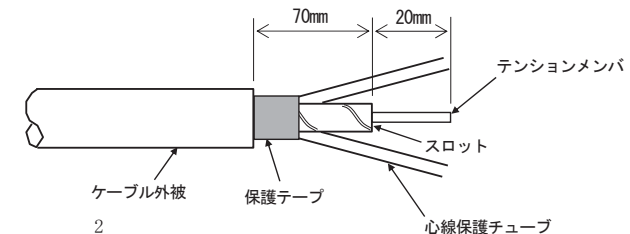
(2) 光ファイバ心線に心線保護チューブを被せてください。  
※心線保護チューブは約200mmにカットして使用ください。



(3) 心線保護チューブ上に保護テープを2回以上巻き付けて、チューブを固定してください。



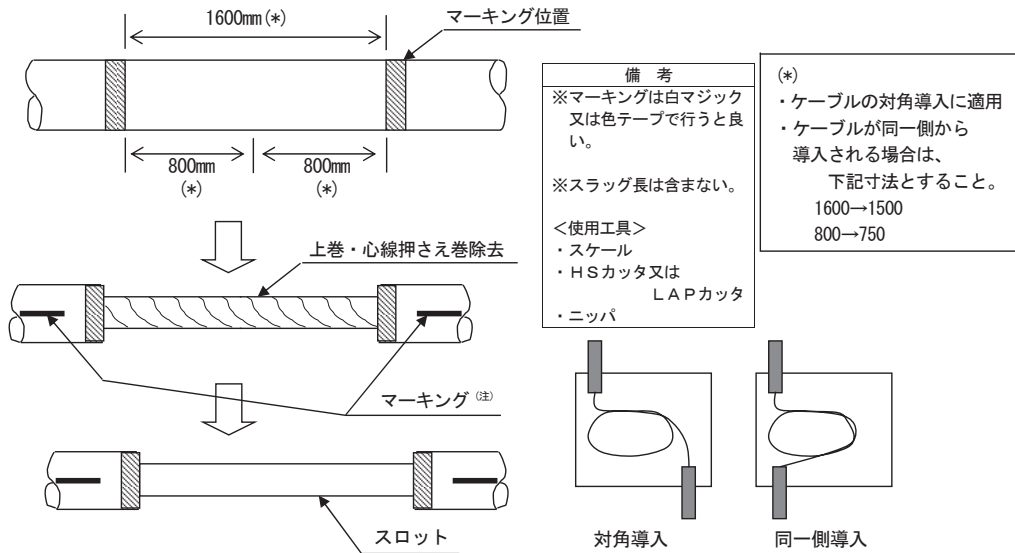
(4) 下図寸法にてスロットの切断とテンションメンバの剥ぎだしを行ってください。



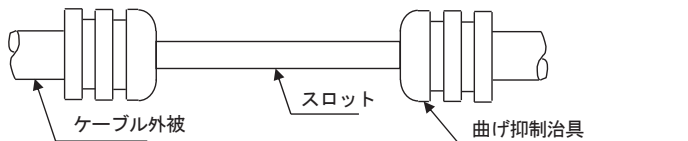
#### 4. 主ケーブルの処理

##### 4-1. ケーブル外被の剥ぎ取り及び上巻・心線押さえ巻の除去

- (1) 接続中心点から、上部下部それぞれ800mm(\*)の位置にマーキングし、HSカッタ等を用いて1600mm(\*)間の外被を剥ぎ取り、上巻及び心線押さえ巻を除去する。  
**<注意>**切断後の捻れを識別するために縦方向へのマーキングをしてください。

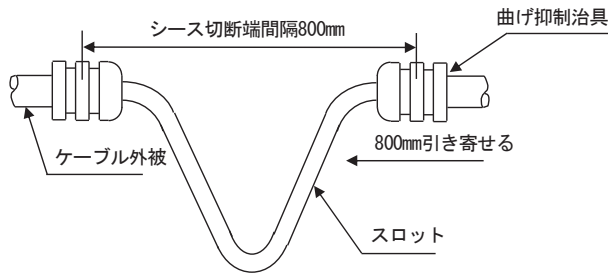


- (2) 曲げ抑制治具を取り付ける。  
 (瞬間防止対策)

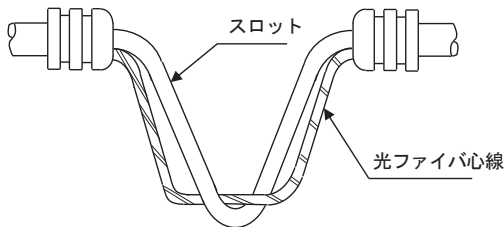


##### 4-2. スロットの引き寄せ及び切断

- (1) ケーブルシース切断端の間隔を約800mm引き寄せる。  
 (SZケーブルの場合は引き寄せる必要なし。)

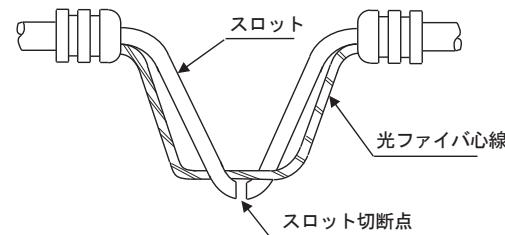


- (2) スロット溝からテープ心線を全て取り出す。



- (3) ケーブルの両端をしっかりと把持し、スロット中心付近を切断する。

- <注意>**・スロット溝内にテープ心線が残っていないか確認してください。  
 ・切断する時は、必ず切断点の両側を持ってください。  
 ・切断時にスロットが跳ね上がると、瞬断の恐れがありますので、ご注意ください。  
 ・切断したスロットやテンションメンバの角がテープ心線に当たらないよう注意してください。

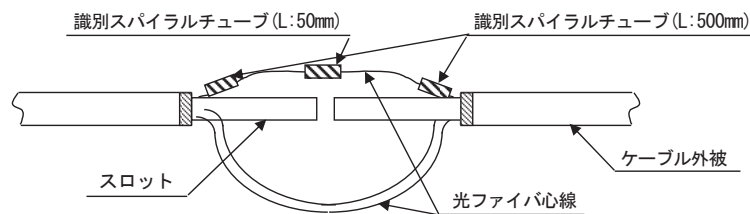


##### 4-3. 接続心線の取り出し

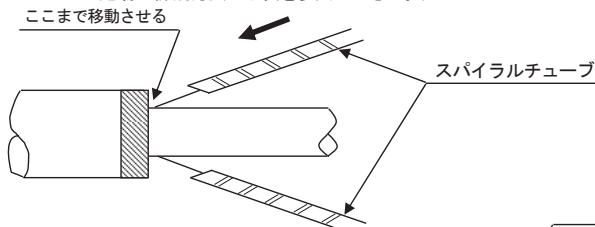
接続する心線を取り出し、3項 分岐ケーブルの処理を参照に心線保護チューブを被せて固定してください。

##### 4-4. 識別スパイラルチューブの取り付け(挿入)

- (1) 通過心線の中央に油性の黒マジックでマーキングする。  
 (2) 識別スパイラルチューブをユニット(1溝)単位で心線に挿入する。  
 →スロット溝内に光ファイバ心線が残っていないことを確認すること。  
 挿入する箇所は心線の両側と中央の3箇所とする。(添付のスパイラルチューブを活用ください)

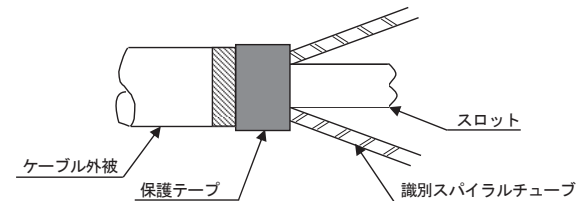


- (3) 両側の識別スパイラルチューブをケーブルシース切断端の隣まで移動させる。  
 (心線の識別方法は下表を参照ください。)

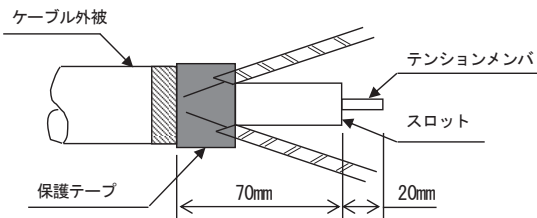


溝番号	(例) 40心ケーブル 識別スパイラルチューブ
1	青
2	黄
3	緑
4	赤
5	紫

- (4) 識別スパイラルチューブ上に、保護テープを2回巻き付けて識別スパイラルチューブを固定する。

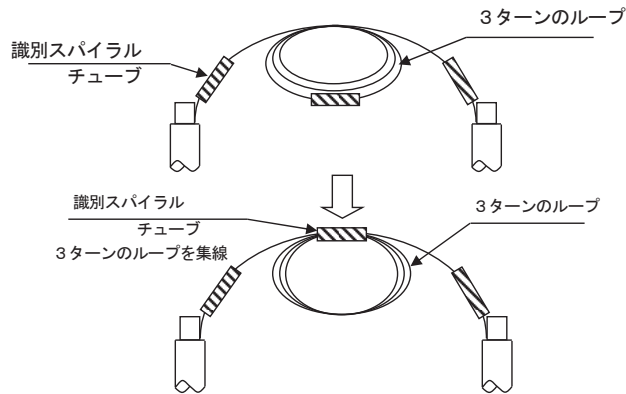


- (5) スロットを下図寸法に再度切断する。  
**<注意>**切断したスロットやテンションメンバの角がテープ心線に当たらないよう注意してください。



4-5. 無切断心線の収納

(1) テープ心線は、ユニット単位で3ターン程のループを作る。

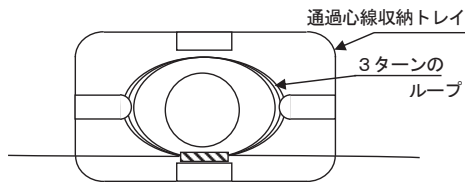


- \* S Zケーブルの場合、予め中央部に
- \* 取り付けしていたスパイラルチューブを
- \* 一度取り外し、3ターン分をまとめて
- \* 再度集線してください。

(2) トレイを保持している面ファスナを剥がし、通過心線収納トレイを開く。

(3) 3ターンのループに集線した余長を通過心線収納トレイに収納し、フタを閉じる。

**注** フタを閉じる際は光ファイバ心線を挟まないよう十分ご注意ください。

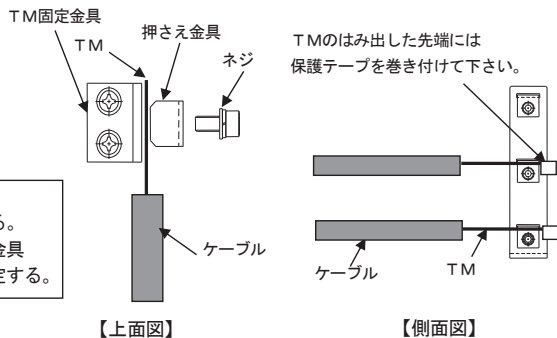


5. 光ケーブル及び、光コードの固定

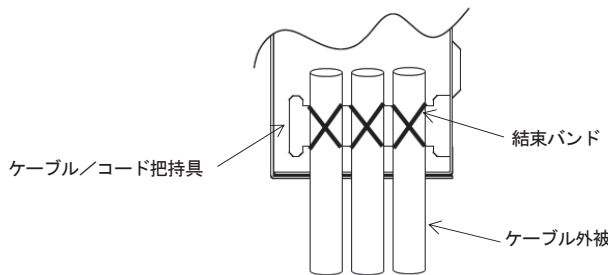
5-1. 光ケーブルの固定

(1) 図の通りにテンションメンバ (以下TM) を固定してください。  
※各部品は形状は実物と若干異なる場合があります。

- ①ネジを緩めて、TM保持金具と押さえ金具の間にTMを挿入する隙間を開ける。
- ②TM保持金具と押さえ金具の間にTMを挟み込み、押さえ金具およびTM保持金具をネジで締め込みTMを固定する。

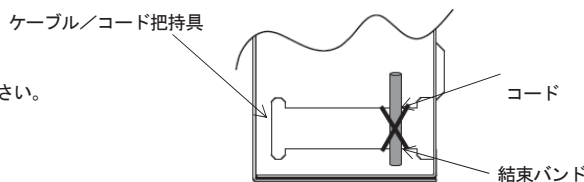


(2) ケーブル/コード把持具に光ケーブルの外被を結束バンドで締めつけて固定してください。

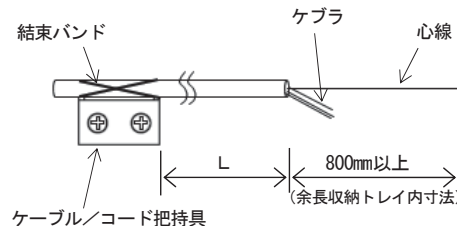


5-2. 光コードの固定

(1) コード把持具に光コードの外被を結束バンドで締めつけて固定してください。



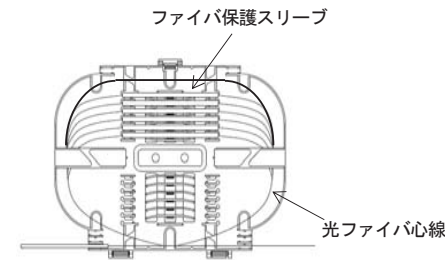
(2) 8項. 実装配線例を参照し、事前に導出方向にあわせてコードの配線をしてからコード口出し寸法を決めてください。下表に参考値を示します。



導出方向	L
左下	約500mm
右下	約700mm
左上	約400mm
右上	約160mm

6. 心線の接続及び収納

- ・ご使用の融着接続機の取り扱い説明書に従って心線を接続してください。
- ・余長収納トレイに接続部(ファイバ保護スリーブ)を固定し、曲げ半径が30mm以下にならないように光ファイバ心線の余長を収納してください。
- \* 収納心数: 単心線×12心/1トレイ  
2心テープ心線×12テープ/1トレイ、  
4心テープ心線×10テープ/1トレイ
- \* 接続余長: 片端800mm



7. 配線例

- 図を参考に光接続箱内の配線を行ってください。(図は下入導出の場合を示し、ケーブル導入位置等は一例)
- 注** 導出コードは接続心線の下側を通してください。

- ※分岐ケーブル及びコードは、主ケーブルの上流側に固定して下さい。
- ※上導入出する場合は、ケーブル/コード把持具を上側に付け替えてください。

**注** 光ファイバ心線及び光コードの許容曲げ半径R30を確保し、配線ください。

8. 余長収納トレイと通過心線トレイを閉じるときの注意事項

余長収納トレイと通過心線トレイを閉じるときは、余長収納トレイを若干押し下げながら押して、余長収納トレイと通過心線トレイのフックを掛けて閉じてください。

